

第3章 生活する／住居

日本で生活するうえで、ゴミ出しや騒音のルールについて学ぶことは、とても大切です。また、日本は自然災害が多い国です。災害のときどうしたらいいのか、学びましょう。

3-1 ゴミの出し方

- ゴミには種類があります。
- ゴミを捨てる日や時間、袋は決まっています。
- 捨ててあるゴミを、持って行ってはいけません。



ゴミ出しのルールや袋は住んでいる区市町村によって違います。区市町村で確認しましょう。

燃えるゴミ

なま 生ゴミ
しょうす 使用済み
かみ 紙くず
ティッシュペーパー など

燃えないゴミ

かさ 傘
はさみ
やかん
ふおーく フォーク
すぶーん スプーン
など

資源ゴミ

あ 空きびん
あ 空き缶
ペットボトル
プラスチック類
かみりい 紙類
など

粗大ゴミ

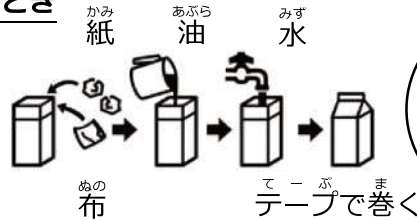
じてんしゃ 自転車
たんす
ぶとん 布団
など

◆ 自分で持っていく
◆ 取りに来てもらう
※お金がかかることがあります。
確認しましょう。

あぶら す かた
油の捨て方

つか あぶら す はいすいかん ただ す
使った油をそのまま捨てると排水管が詰まります。正しく捨てましょう。

◆ **牛乳パックを使うとき**



ぎょうこざい
凝固剤は
ドラッグストアで
売っています

◆ **凝固剤を使うとき**



そうおん
3-2 騒音



- 日本では夜9時を過ぎたら静かにしましょう。
- 日本の家は狭く、隣の家と距離が近いので大きな音や声を出すと近所迷惑です。騒がしいと苦情が来ることがあります。



りょう あばーと つか かた
3-3 寮・アパートの使い方

りょう あばーと せいかつ す づぎ のこと に き をつけましょう。また、日本人は、きれいな人が多いため、住む場所を清潔にしておくために、よく掃除をします。週に1回以上は部屋中掃除をする習慣を身に付けてください。

- 自分の家ではありません。掃除や換気をしてきれいに使いましょう。
- 廊下は共用スペースです。物を置くのはやめましょう。
- 壁に穴をあけてはいけません。
- 家の中では靴を脱ぎましょう。
- 空気が乾燥し、火事が発生しやすいです。次のことに気をつけましょう。
 - ① ストープの真上に洗濯物を干してはいけません。
 - ② ストープの近くにカーテンなど燃えやすいものを近づけてはいけません。
 - ③ ごみ箱にタバコを捨ててはいけません。
 - ④ ガスコンロ使用中はその場を離れてはいけません。

<つかってみよう! にほんご>



あかん す
空き缶はどこに捨てればいいですか。

し ぜんさいがい お
3-4 自然災害が起こったら



- 災害の時は、本当か ウソか 分からない情報が 多くなります。テレビのニュースやインターネットなどで 正しい情報を よく確認しましょう。
- 日頃から 家の近くの避難所の場所や、職場への連絡方法を 確認しておきましょう。

じしん
【地震】

- ゆれを感じたら ・テーブルの下に 入って、身を守ります。
- ・家具が 倒れてこない場所に 移動します。
- ゆれが止まったら ・コンロなどのガス機器の火を 消します。
- ・ドアや窓を 開けます。



- 家を出るときは ・ガスの元栓を 閉めて、電気のブレーカーを 落とします。

つなみ
【津波】

- ・地震が起きると、津波が くるかもしれません。
- ・海や川に 近づいてはいけません。
- ・津波は、強い、高い、速い波です。すぐに 高い場所へ 逃げてください。



たいふう おおあめ こうすい
【台風・大雨・洪水】

- ・大雨や強い風で、海の波が 高くなったり、川の水が 増えるため、危険です。
- ・雨風が 強い時は 外に出てはいけません。
- ・電車やバスが 遅れたり、止まることも あります。

ちやうないかいせいど じちかいせいど
3-5 町内会制度、自治会制度

- 同じ地域に 住んでいる人たちが みんなで 助け合い、住みやすい町に なるように 集まって活動している 住民団体です。入るか 入らないかは 自由です。
- 町内会・自治会の集まりや イベントに 積極的に 参加して、同じ地域に 住んでいる人たちと 交流しましょう。(例：防災訓練、地域の掃除、お祭り)
- 回覧板には 地域の お知らせが 載っています。順番に 次の人に 渡します。
- 災害が 起きたときに、助け合えるように 日頃から 交流しておきましょう。

<つかってみよう! にほんご>



じしん
地震のとき、どうすれば いいですか。